

# 第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

## 小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	釜石市立双葉小学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	釜石のよさと震災の痛手を学び、考え表す児童の育成

### 〈活動・研究の意義および活動報告〉

#### 1. 活動に至る経緯

2011年3月11日、釜石は東日本大震災の地震と津波の襲来を受けたが、本校は釜石市の西側に位置しているので、津波よりの地震による軽微以上の被害を受けただけにとどまった。あれから、12年を経過し、現在は、日本海溝・千島海溝地震津波の襲来に備え、本校は2年前からこの災害に備えるために防災教育に力を入れてきた。今年度は、釜石は津波等の自然災害はあるけれども、釜石にはよさがある。そこで、この両面を主体的に学ぶことに力を入れたいと考えた。これらを通すことで、「ふるさと釜石」を広い視野から考え、表現することまでをねらいたいと思った。

#### 2. 活動・研究のねらい

釜石のよさと震災の痛手を学び、考え表す児童の育成を図ることを活動・研究のねらいとする。

#### 3. 活動内容

##### (1) 2年生の学び「釜石の鉄・津波の備えについて知ろう」・・・鉄の歴史館、釜石大観音広場(R5.6.28)

<目標>：①鉄の歴史館見学を通して鉄で栄えた釜石について知る。

②釜石大観音が建つ広場から湾口防波堤を見て津波に備えていることについて知り、友達どうし発表し合う。

<学習後の児童の感想>・釜石に日本で一番古い洋式高炉ができたのを知りました。大島高任が洋式高炉を作ってとてもすごいと思いました。

・防波堤のおかげで津波を6分も遅らせることができてすごいと思いました。



洋式高炉の操業見学（2年）

##### (2) 3年生の学び「まちのひみつ発見」・・・津田商店見学(R5.11.13)

<目標>：①釜石で獲れる魚を魚市場に行ってみたりそこで働く方々が釜石の恵みを大切にしたりしていることを知る。

②震災から復興した自分たちの住む町の様子を知り、復興に向けたふるさとではたらく人たちの様子について調べ、自分たちの町の良さについて考えさせ、エジプトの友達に伝える。



津田商店の工場内の見学

#### <学習後の児童の感想>

##### エジプトの友達に伝える3年⇒

・津田商店の見学では、東日本大震災で工場で働いている人が流されてしまつて、たくさんの被害が出て大変だったけれどすぐに工場を立て直して釜石の美味しい海産物を全国に届けられるようにしたことがすごいと思った。

・釜石は震災から復興までに全国から協力があつたけど、それだけでなく釜石の人たちが支え合えあつて復興したということを知ることができた。

・海産物や震災・復興のことを勉強したけど、まだまだ釜石のよい所はいっぱいあると思うから調べたい。



### (3) 4年生の学び「わたしたちが住む鉄の町 釜石」…釜石鉱山の中、鉱山事務所内、鉱山事務所(R5.10.27)

- <目標> ①鉄の町釜石となった歴史や釜石鉱山で採取できる鉱石を知ることができる。
- ②見学の際に採取した鉱石の標本づくりを行い学びを家族や地域へ発信する。

#### 4年グリニットホール見学



#### 鉄の発表会での発表



#### <単元学習後の児童の感想>

- ・山にたまった雨水は40年かけて流れ出ていることを知りました。現在釜石鉱山で採れる仙人秘水は私達が生まれる前の水だと初めて知ってびっくりしました。
- ・釜石鉱山の中で爆弾を使って鉱石を採ったり、トロッコを使って運んだりしていたことを初めて知りました。釜石鉱山内の行動が1000mあることに驚きました。

#### 東中生徒が避難した道走る5年



### (4) 5年生の学び「東日本大震災から学ぼう」

#### …いのちをつなぐ未来館見学、東中が震災当時避難した道路を走って疑似体験(R5.11.2)

- <目標> ①いのちをつなぐ未来館の見学で学んだことを振り返る。
- ②見学して学んだことやこれから気をつけていきたいことなどを入れながらお礼の手紙を書いたり、新聞にまとめ発表し合う。

#### <学習後の児童の手紙の内容の一部>

- ・「ここは、津波は来ないから大丈夫」と思っている、家族と一緒にじゃなく一人のときでも、ちゃんと避難場所に避難したいです。



#### いのちをつなぐ未来館見学

### (5) 6年生の学び「釜石の未来を考えよう～自分たちにできること～」…東日本大震災津波伝承館見学(R5.11.1)

- <目標> ①東日本大震災津波伝承館、陸前高田復興記念公園見学を通し、被害状況や復旧・復興までのあゆみへの理解を深める。
- ②見学を通して学んだことから、北九州の友達や地域に発信するとともに、自分達にできることは何かを考える。

#### 折れ曲がった消防車を見る



#### <学習後の児童の振り返り>

- ・私は、今回の見学で震災遺構として残しているものには、被害の大きさを実感してほしいという思いや、防災について学ぶことの重要性を伝えていることが分かりました。私は支援してくれた人たちやこれから災害が起こるかもしれない地域に住む人たちに、東日本大震災による被災した状況から、たくさんの支援を受け復興した今がある事を伝えたいと思います。
- ・津波が持つ力を展示物や資料からさらに深く知ることができてこの地でどれだけの人が犠牲になったかを考えると苦しくなった。

#### 4. 児童全員の成果と課題 (○=成果、▲=課題)

- 実際に見たり聞いたり、体験したりする学習は、児童の心に「もっと釜石を知りたい」、「震災とは怖いものだから備える、自分の命を守ることが大切、他の人にも伝えたい」という思いを持たせる積極的な学習にさせた。また、人々が被災しても困難にも負けずに立ち上がっているということを感じ、心に刻む児童も多くいた。
- 震災の痛手をより明確に感じ取り、6年は3月の市津波避難訓練で自分達ができることの地域貢献につなげた。
- 釜石のよさも痛手も学び、広い視野での釜石を学ぶよい学習となった。
- ▲新聞にまとめる、画用紙に書いてまとめ保護者を中心に発表すること以外に、発達段階にもよるが、地域の方へ伝えることは大切であることを6年生の実践を通して分かったので次年度以降ここを大切にしたい。